

やっと出会えた理想のユニフォーム ukaカラーに病院の理念と働く皆の想いを込めて

岡山中央病院 産婦人科バースセンター



地域医療を支えるためのしっかりとした理念

岡山県岡山市で1951年に産婦人科を開設し、現在19科を運営する岡山中央病院。クリニックから、急性期、回復期まで横断型の医療を提供するグループ全体の理念として「あなたと共に」を掲げ、患者さんやそのご家族と同じ目線で寄り添いながら、地域医療へ



の貢献を目指しています。

2020年には産婦人科をリニューアルし、「より優しい医療をより快適な環境で」をコンセプトとした「産婦人科バースセンター（以下「バースセンター」）」を立ち上げ。医師、助産師、看護師、保育士のほか、コンシェルジュや料理人を配置し、妊娠婦の方に寄り添った医療や食事の提供、ご家族の要望にも応え、より快適な入院生活をサポートしています。

大切な想いを表現してくれる「uka」カラー

今回、バースセンターのユニフォームリニューアルでご採用いただいたのは、トータルビューティーカンパニー「uka（ウカ）」カラー監修によるユニフォーム。このユニフォームに出会うまで、数々のカタログやサンプルを取り寄せたり、オーダーメイドに挑戦したり。年齢や要望も異なるスタッフの意見は分かれ、2年以上に及び難航したといいます。

選定当時を振り返り、保育士の福田さんは「決め手は色のかわいさでした。彩度・明度を抑え、落ち着いた印象の“くすみカラー”



①こだわりが詰まった、上質感のあるエントランス。②赤ちゃんの身の回りのお世話は保育士が優しくレクチャー。③スタッフの明るい表情が印象的なナースステーション。④上質感のある院内に馴染む uka カラーのユニフォーム。⑤困りごとはコンシェルジュが丁寧に対応。

社会医療法人 鴻仁会 岡山中央病院
岡山県岡山市北区伊島北町6-3
www.kohjin.ne.jp

カッティングや、ポケットの位置・深さも使いやすいと好評です。

保育士の近松さんは「以前は別々のユニフォームだった助産師と保育士が、同じ形のものを着ることで、バースセンター全体にまとまりが生まれました」とのこと。好きなユニフォームを着ることで、皆の仕事のモチベーションも一層アップしたと感じているそうです。

副院長の渡邊さんは「バースセンターの立ち上げに伴う、さまざまなりニューアルの多くは、ひとりの提案を元に決まったに 対して、ukaのユニフォームだけは働くスタッフ皆で決めたものでした。自ら誇りを持って選び、着た時にも満足しながら仕事をしていることを、本当に嬉しく思っています」とのこと。これからも、病院の姿勢や心を表現するものとして、ユニフォームを活用頂ければ幸いです。

